

**放送日** 令和6年10月2日（水）  
**担当者** 消防課 大橋 颯太

おはようございます。消防署消防課の大橋颯太です。

私は4月から1か月間、消防署で勤務し、5月9日から9月13日までの約4か月間、北海道消防学校に入校し、消防士としての基礎や心構え、チームワークなど色々な事を学びました。実際に物を燃やしてそれらを消火するという訓練で炎や煙の恐怖を体験したり、自然災害の危険性などを確認するという訓練を新人消防職員として行ってきました。とても暑く精神的にも体力的にも辛い訓練でしたが道内各地の消防職員と声掛けや助けあいを重ね、無事に乗り越えることができました。

これらの訓練を通して火災や自然災害で被害を受けた方や不安な市民に1番最初に接することができ、いち早く助けることのできる職業だと感じました。

今後、新駅の開発やエスコンフィールド北海道でのイベントなどで多くの人が集まる北広島市では急病人や火事、災害などが増えていくと思います。その災害は多種多様で複雑なものであると思います。学校で学んだことやこれから現場に出て得る知識、先輩方から教わったことなどを活かし10月からは現場で最適な対応を取れるように努力していきます。

また、常に現状に満足をせず、向上心を持って消防職員としての職務にあたっていきたいと思います。

**放送日** 令和6年10月7日（月）  
**担当者** 消防課 齊藤 瞭太

おはようございます。消防署消防課の齊藤瞭太です。

私は4月から北広島市の消防職員となり、約4か月の消防学校生活を送り先月卒業しました。そこでは訓練や座学を通して消防の基本について学んできました。そんな中、講義の前に教官が私達にある動画を見させてくれました。それは毎年行われている全国消防救助技術大会に教官が出場された時のでした。私は動作1つ1つの速さと正確さに圧倒され、この舞台に立てばきっと私自身も成長できると考え、出場したいと思いました。このことから、今後どのように私自身成長すれば全国に行けるのか、以下にスピーチしていきます。

私は幼い頃から、スキー技術選手権大会に出場しており、現在に至るまで優勝を4度経験してきました。この結果を得ることができた要因の1つに長期目標と短期目標を作成したことだと考えます。従って、まず基本となる土台が私ほどきていないと感じることが多々あるため、徹底的に基礎を固めます。次に応用を交えた訓練を行い、段階を踏むことで、長期目標である全国消防救助技術大会に出場したいと考えています。

現在北広島市消防本部にも、全国大会を目指し、日々訓練に励んでいる先輩職員の方々がいます。その姿を見る度消防職員として尊敬すると同時に、いつかはと闘志を燃やしています。このことから、まずは任された仕事を確実に行います。そして、もし、今後出場できる機会を頂いた際には、全国を目指し、自身の成長に繋がります。

**放送日** 令和6年10月9日（水）  
**担当者** 都市整備課 中村 秀次郎

おはようございます。建設部都市整備課の中村秀次郎です。私は民間企業での業務を経験したのち今年入庁致しました。

前職では主に受注者として土木工事における施工管理に携わってまいりました。現在では発注者として工事を進めていく立場です。そんな私が所属する都市整備課は、道路・街路・公園の整備や橋梁の維持・補修、緑化推進など社会基盤を支える重要な仕事の一部です。私は生活道路の整備を担当しているため、道路についてお話したいと思います。皆様毎日何気なく使っている道路ですが、当たり前すぎて深く考えたことがない人が多いのではないのでしょうか。道路は、人や地域をつなぎ、人・モノの移動を支援するものです。通勤や通学、買い物等の日常生活の移動やレジャー・観光など広域的な人の移動、また食料品や日用品など生活物資や工業製品などのモノの輸送を支えています。こう考えると私たちが不便なく生活する上でどれだけ道路が重要なかわかるはずですよ。

皆様の生活をさらに豊かにするために現在担当している工事を無事に完成させ、多くのことを経験し学び、一刻も早く一人前の技術者として今後のまちづくりに携わりたいと思います。

**放送日** 令和6年10月17日(木)  
**担当者** 消防課 吉井 響基

おはようございます。消防署消防課の吉井響基です。

私は4月から消防署で勤務しています。本日は新任職員として仕事に対する意気込みや熱意についてスピーチさせていただきます。

私は5月から9月までの約4か月間、北海道消防学校に入校し初任教育課程での教育を経て卒業しました。この教育期間の中で火災に対する知識や機械器具の取り扱いについての学習や訓練に取り組みました。また、道内各地の同期と寮での共同生活を過ごす中で、お互いに声を掛け合い日常的に支えあうことによりチームワークを築き上げることができました。

この教育を経てこれからの現場活動に臨むにあたり2つ目標を立てました。

1つ目はこの期間で学んできたことをもとに、自己研鑽を継続していくことです。私は未熟な部分が多いことから段階的に成長するために、私が考える消防職員の理想像と毎日の課題を設定し、学習や訓練をすることでいち早く戦力となるよう先輩職員から多くの学びを得ていきたいと思います。2つ目は自分で考えて行動できる職員を目指します。今後学ぶことが多々ある中で、教えていただく受け身の立場ではなく自分自身に足りない部分を自覚し、自分から学ぶ姿勢を常に持つことでこの北広島の市民の方や市に訪れる方のために、市の安全を保ち安心していただけるまちづくりに貢献したいと思います。

**放送日** 令和6年10月21日(月)  
**担当者** 建築課 山口 敏輝

おはようございます。4月に入庁しました建設部建築課の山口敏輝です。

現在、私は建築指導の業務と建築工事の業務に従事しています。建築指導業務では窓口での確認申請や長期優良住宅の申請、証明書発行等の受付、電話では主に不動産事業者からの建築相談対応などを行っています。また、建築工事業務では図面作成や施工状況の確認等の業務を行っています。

業務で大変だと思う事は関係する法律、条例、専門用語を覚える事が挙げられますが、他課の業務範囲を知る事が特に難しいと感じます。建設総務課、都市計画課、環境課、観光振興課など様々な課が建築課と関ります。

ある日、電話で建築相談が来ましたが結論を言うと他の課が所管する内容でした。私は他の課との業務の関係に疎い事と、建築相談だという先入観から関係法令を1から調べるなど誤った行動をしてしまいました。このような失敗から一人で解決しようとせず、自分で回答できそうでも初めに一度、先輩職員へ聞くという教訓を得ました。また、現在行われているジョブローテーション研修等を通して他課の業務内容へ理解を深めたいです。

最後になりますが、私は北広島市を住み良い街であり続けさせ、建築を通して能力を還元するため、一日でも早く一人前になりたいです。まだまだ経験も足りないところではございますが、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

**放送日** 令和6年10月23日(水)  
**担当者** 水道施設課 村上 友翼

おはようございます。水道部水道施設課の村上友翼です。

私は民間企業での経験を経て今年の4月から市役所に入庁しました。前職では地元である十勝で農業に関連する土木施設の設計を行っていました。

私が所属する水道施設課は、各家庭に安全な水を届けるため、水道管をはじめ各種水道設備の工事、維持管理を行っております。中でも私は水道管工事の工事監督、設計を行っております。民間経験者として水道部に配属していただいたにもかかわらず、水道への知識が乏しいため先輩職員の皆様には大変なご迷惑と落胆をかけてしまっており、申し訳なく感じております。

水道水を飲まない生き方をしてきた私にとって、水道について考えることは入庁するまでほとんどありませんでした。蛇口をひねれば水がでる、それが普通で日常だと思っていました。しかし今後の水道事業は自然災害への備え、施設の老朽化、人口減少による水道料金収入の減少等様々な課題を抱えています。水道を普通に使える日常の維持に貢献できるよう技術力を高めていきたいです。まずは、先輩職員の設計内容をよく確認し、様々な設計手法を吸収する、工事現場に多く向かい設計と現場の整合性を確認する等を通して水道知識を学び、信頼される技術力を持った職員となれるよう努力します。

**放送日** 令和6年10月28日(月)  
**担当者** 教育総務課 森下 光希

おはようございます。教育部教育総務課の森下光希です。

入庁から半年が経ち、月日の流れの早さを痛感しているところでございます。

私が担当している業務は主に、学校備品や教育委員会会議録に係る事務手続き、学校ICT環境の整備などです。当初は右も左も分からず困惑することが多くありましたが、先輩職員の皆様のご指導のおかげで少しずつ業務内容を理解できるようになりました。このスピーチではこの半年間の業務で改めて感じた、意識すべきことをお話しします。それは大きく2つあります。

1つ目はスピード感の重要性です。突発的に問題が発生し、予定の業務が一切できないまま一日を終えることが多くある状況下では、効率的に業務を進めることが求められます。内容理解から対応まで迅速かつ正確に進めながら、考えても分からないことはすぐに先輩職員に聞くように心がけています。

2つ目は相手の状況を理解して業務にあたることです。私は業務柄、教職員の方々と連絡を取ることが多くあります。教職員の皆様は非常に多忙なスケジュールをおくっているため、限られた時間で内容を簡潔に伝えることが必要となります。そのため、伝える前に一度内容を整理してから伝達するように意識しています。今後もこれらを意識して責任感をもって業務にあたり、庁内外問わず、信頼される職員になれるよう精進していきます。

**放送日** 令和6年10月30日(水)  
**担当者** 社会教育課 加藤 章太

おはようございます。社会教育課の加藤章太です。

まず、庁舎を毎日綺麗にお掃除してくださっている清掃員の皆様、いつも朝早くからありがとうございます。

さて、私は4月に入庁し、早くも7か月を迎えようとしています。新社会人として多くの不安を抱えていましたが、少しずつ適応できているように感じます。それも全て、上司や先輩方のサポートがあるおかげです。ありがとうございます。

現在、主に市民の団体などに体育館を開放する学校体育館開放を担当しながら、放課後子ども教室や各種イベントの準備・運営を行っています。これらの社会教育課の仕事は、地域の皆様と関わる機会が多く、コミュニケーションの大切さを実感しています。また、活動の様子や子どもたちの笑顔は私にとって大きなやりがいとなっており、学校教育以外での学びである社会教育の重要性を身に染みて理解することが出来ました。

私はまだまだ力不足であり、市民の皆様の学びによるまちづくり・ひとづくりに貢献できてはおりませんが、頼りになる上司、先輩のもとで多くのことを誰よりも学んでいきたいと思えます。

市民の皆様は勿論、業務で関わる全ての人との繋がりを大切に取り組み、私が学んだことは、しっかりと職務に活かすことで市民の皆様へと、そしてまちづくりへと還元していきたいと思えます。